

DNA祖父母鑑定報告書

見本(母サンプル提供あり/祖父母確率99.999997%)

報告書作成日 2013/12/18

DCは、FQS-International, ISO/IEC-17025, AABB, CAP, CLIA, NYSDOH, 及び ASCLD/LAB-International より認証または認定を受けています。※

case	8888888	母	子	擬祖母	擬祖父
氏名		○○ ○○	●● ●●	□□ □□	■ ■ ■ ■
登録No.		SO-00000-10	SO-00000-20	SO-00000-80	SO-00000-90
生年月日 - 人種		1985/5/14 アジア人	2013/8/4	1950/10/21 アジア人	1949/3/16 アジア人
サンプル採取日		2013年12月10日	2013年12月10日	2013年12月10日	2013年12月10日
Test No.		8888888-10	8888888-20	8888888-80	8888888-90
ローカス	祖父母指数	DNA型		DNA型	
D3S1358	1.19	15 16	16 17	15 16	15 17
D1S1656	7.14	12	11 12	11 16.3	13 17
D2S441	0.95	11	10 11	10 11	11
D10S1248	1.39	14 15	13 15	13 16	13 14
D13S317	5.20	8	8 10	10 11	9 10
Penta E	3.60	10 13	10 12	11 12	5 12
D16S539	1.37	9 11	9 12	9 10	11 12
D18S51	2.84	15 19	17 19	13 15	14 17
D2S1338	1.48	19 23	19 23	17 24	19
CSF1PO	1.18	11 12	11 12	7 12	11 12
Penta D	2.88	8 11	11	10	8 11
TH01	1.41	9	9	6 9	9 9.3
vWA	15.70	14 16	14 20	14 20	18
D21S11	3.41	30	29 30	29	29 30
D7S820	1.65	8 12	11 12	11 12	8 11
D5S818	1.61	12 13	11 12	9 11	10 11
TPOX	1.50	9 10	10 11	9 11	9 11
D8S1179	2.09	10 13	10 12	12 14	11
D12S391	2.61	17 18	17 20	20	19
D19S433	0.88	13 14	13 14	13 14	13.2 15.2
FGA	7.36	19 22	22 26	22 23	24 26
D22S1045	0.66	11 16	11 15	15 16	11
Amelogenin		X	X	X	X Y

RN:888888

解 説(鑑定主文)

総合祖父母指数 **28,829,027**
 祖父母肯定確率 **99.999997%**

擬祖母、□□ □□と■ ■ ■ ■は、子、●● ●●の生物学上の祖父母である可能性から排除されない。
 22の異なるDNAローカスから得られた祖父母肯定確率は、**99.999997%**である。
 この祖父母肯定確率は、アジア人種の未検査無作為一般集団と比較の上、算出された。(検査前の確率を0.5と推定)
 (上記結果より、擬祖母□□□□と■ ■ ■ ■は子●●●●の生物学上の祖父母であると極めて強く推定できる。)

2013年12月18日 鑑定人が署名、宣誓したことを証明する/

この結果解説は報告された通りで間違いなく、上記鑑定はAABBによって規定されたDNA鑑定ガイドラインに沿って行われたものであることを証明します。

オハイオ州公証人登録署名及び刻印

オハイオ州公証人 Donna L. Dougherty

2017年05月08日 まで有効の印

..... 署 名

博士

※ FQS-International (科学的犯罪捜査管理局), ISO/IEC-17025 (国際標準化機構), AABB (米国血液銀行協会), CAP (米国病理医師会), CLIA (臨床検査機関改善修正条項), NYSDOH (NY州保健局), ASCLD/LAB-International (米国犯罪捜査機関理事組合/研究機関認可委員会)

この「鑑定書見本」は、一般の方々にご理解いただけるよう作成したもので、用語・数値等を専門的に記述したものではありません。
 見本に表示されたアリアルサイズ、祖父母指数等の数値は意図的に実際と異なるものを使用しています。

DNA祖父母鑑定報告書

見本(母サンプル提供あり/祖父母確率0%)

報告書作成日 2013/12/18

DDCは、FQS-International, ISO/IEC-17025, AABB, CAP, CLIA, NYSDOH, 及び ASCLD/LAB-International より認証または認定を受けています。※

case	8888888	母	子	擬祖母	擬祖父		
氏名		○○ ○○	●● ●●	□□ □□	■ ■ ■ ■		
登録No.		SO-00000-10	SO-00000-20	SO-00000-80	SO-00000-90		
生年月日 - 人種		1985/5/14 アジア人	2013/8/4	1950/10/21 アジア人	1949/3/16 アジア人		
サンプル採取日		2013年12月10日	2013年12月10日	2013年12月10日	2013年12月10日		
Test No.		8888888-10	8888888-20	8888888-80	8888888-90		
ローカス	祖父母指数	DNA型		DNA型		DNA型	
D3S1358	1.19	15	16	16	17	15	17
D1S1656	0.00	12		11	12	15	17.3
D2S441	0.95	11		10	11	10	11
D10S1248	0.00	16		15	16	13	16
D13S317	0.00	8	12	12	13	10	11
Penta E	0.00	10	13	10	12	5	16
D16S539	1.37	9	11	9	12	9	10
D18S51	0.00	15	19	17	19	14	25
D2S1338	0.00	19	22	18	19	17	24
CSF1PO	1.18	11	12	11	12	7	12
Penta D	0.00	8	11	11		12	14
TH01	0.00	9		9		7	
vWA	0.00	14	16	14	20	18	19
D21S11	0.00	30		29	30	30	
D7S820	1.65	8	12	11	12	11	12
D5S818	1.61	12	13	11	12	9	11
TPOX	1.50	9	10	10	11	9	11
D8S1179	0.00	13	14	10	14	12	14
D12S391	0.00	19		19	23	18	19
D19S433	0.88	13	14	13	14	13	14
FGA	0.00	21	25	20	21	22	23
D22S1045	0.00	11	16	11	15	11	17
Amelogenin		X		X		X	

RN:888888

解 説(鑑定主文)

総合祖父母指数
祖父母肯定確率

0
0%

擬祖母、□□ □□ と ■ ■ ■ ■ は、子、●● ●● の生物学上の祖父母である可能性から排除される。
擬祖母は、生物学上、子が祖母から引き継がなければならない遺伝マーカーが欠乏している。
鑑定結果は、D1S1656, D10S1248, D13S317, Penta E, D18S51, D2S1338, Penta D, TH01, vWA, D21S11, D8S1179, D12S391, FGA, D22S1045, 以上のDNAローカスによって得られたものである。
祖父母肯定確率は 0% である。
(上記結果より、擬祖母 ■ ■ ■ ■ と □ □ □ □ は子 ● ● ● ● の生物学上の祖父母でないと極めて強く推定できる。)

2013年12月18日 鑑定人が署名, 宣誓したことを証明する/

この結果解説は報告された通りで間違いなく、上記鑑定はAABBによって規定されたDNA鑑定ガイドラインに沿って行われたものであることを証明します。

オハイオ州公証人登録署名及び刻印

オハイオ州公証人 Donna L. Dougherty
2017年05月08日 まで有効の印

..... 署 名
博士

※ FQS-International (科学的犯罪捜査管理局), ISO/IEC-17025 (国際標準化機構), AABB (米国血液銀行協会), CAP (米国病理医師会), CLIA (臨床検査機関改善修正条項), NYSDOH (NY州保健局), ASCLD/LAB-International (米国犯罪捜査機関理事組合/研究機関認可委員会)

この「鑑定書見本」は、一般の方々にご理解いただけるよう作成したもので、用語・数値等を専門的に記述したものではありません。
見本に表示されたアールサイズ、祖父母指数等の数値は意図的に実際と異なるものを使用しています。